授業科目		自動車整備エンジン		単位/時間	90h
開講学科等		自動車整備工学科 2年		担当教員	筒井 孝則
授業の目的・テーマジー		ソリン・エンジンについて各系統の構成や作動原 ーゼル・エンジンについて基礎知識から電子制御 ンジン全般の整備に関する知識を学ぶ	原理及で 即式まで	 	こついて学ぶ
授業の到達目標		子制御式について各制御の内容やその ーゼル・エンジンとガソリン・エンジ 級自動車整備士合格の学力			
	1 -	年次の復習	26	噴射ポンプの種類と構	<b>青造及び作動</b>
	2 性	能とガソリン・エンジンの燃焼	27	後期中間試験	
	3 エ	ンジンの燃焼と排気ガス	28	予熱装置	
	4 エ	ンジン本体の構造・各機構	29	電子制御式燃料噴射装	長置の概要
	5 <sub>ਜਾਣ</sub>	要バルブ機構と可変バルブ・タイミング 変パルブ機構と可変バルブ・タイミング	30	電子制御式燃料噴射装置	の構造・仕組み
	6	タイソレフ 1放併 こ 引 友 / ソレフ ・ ク 1 、 マ フ	31	電子制御式燃料噴射装置の制	制御及びその内容
	7 週	滑装置、冷却装置	32	後期期末試験	
授 業	8	<b>捐表</b> 但、用如表但	33	まとめ・復習(ガソリン	及びジーゼル)
	9 1174	排気装置	34		
	10	<b>沙</b> 八衣巨	35		
	11 期	末試験	36		
	12 電	子制御式LPG燃料装置の構造	37		
$\mathcal{O}$	13 電	子制御式燃料噴射・点火装置の構造、機能	38		
画	14 🗶	14     15     Aセンサの仕組みとその役割	39		
	15		40		
	16 欠	<b>活</b> 始工	41		
	10   各種補正   17	42			
	18 _	ェイルセーフ機能とバックアップ機能	43		
	19	エイルと、ノ阪配とバックテックが成化	44		
	20 21 ジーゼル	ーゼル・エンジンの燃焼及び性能	45		
		とル・エンフンの旅院及び住船	46		
	22 週	滑、冷却装置(ジーゼル)	47		
	23	何、中邳表色(ノービル)	48		
	24 燃	料装置の概要	49		
	25 噴	射ポンプの種類と構造及び作動	50		
授業の方法		講義 二級ガソリン・エンジン 二級ジ	ーゼル	· ・エンジン 各コ	エンジン構造
評価の方法や	基準	各期末テストで60点以上の成績を収めること。(A:85~100 B:84~70 C:69~60 D:59以下) 点数が未達の場合は、追試験において60点以上の成績を収めること。(59以下は不合格)			
実務経験のある教員による持		- 授業科目の場合、 右欄に○を入れ、実務経	験とま	<b>実務経験の活かし方を</b> 記	□載する ○
実務経験		自動車ディーラなどで、2級整備士として勤務			
実務経験の活力	かし方	整備士として仕事をしている時に必見例をあげ、説明する。	要とし	た知識については、	その状況などぽ
履修上の注意	事項	教科書の内容以外のことも多いので、	、きち	5んとノートにまと&	りる

授業科目		自動車整備シャシ		単位/時間	45 h	
開講学科等		自動車整備工学科 2年		担当教員	松岡邦朗	
授業の目的・テーマ教和		自動車で現在使われている機構・装置を中心に 教科書にない安全装置なども、外部資料等を また、それぞれについての故障探究も学ぶ。			置を学ぶ。	
授業の到達目標	票	各装置の名称・作動・構造の説明ができる。 各装置の故障探究において、故障個所を正確 !級自動車整備士試験の問題で、正解を導き出	に特定 出せる。	こし、修理手順と方法の	説明ができる。	
	1	1年次の復習	26	後期中間試験		
	2	動力伝達装置	27	中間試験の解答とが	解説	
	3		28			
	4		29	ブレーキ装置		
	5	オートマチック・トランスミッション	30	フレース表画		
	6		31			
	7		32	  制動特性とコーナリ	ング特性	
	8	マニュアル、オートマの整備	33	1的動作品と テラ	- 7 NIL	
	9		34	エア・油圧ブレーキの構造と整備		
	10		35			
授	-	アクスル及びサスペンション		フル・エアーブレーキの構造と整備		
業	12   13   パワーステアリングの構造と整備			エアー・油圧ブレーキの構造と整備		
の 計				フレーム及びボティー		
画	14			期末試験 期末試験の解答と解説		
<del>  Ed</del>		15 前期末試験 16 前期末試験の解答と解説		別木武駅の解合と所	<b>丰</b> 元	
	-					
	17   18   ホイール及びタイヤ		42			
	19		44			
	20		45			
	21 タイヤの変形、発熱、摩耗		46			
	22		47			
	23		48			
	24	ホイールアライメント	49			
	25		50			
授業の方法		講義				
1文米の万位	4	D丹 孝文				
テキスト/参考	文献	2級シャシ シャシ構造 I シャシ棒	構造Ⅱ			
評価の方法や	基準	各期末テストで60点以上の成績を収めること。(A:85~100 B:84~70 C:69~60 D:59以下) 点数が未達の場合は、追試験において60点以上の成績を収めること。 (59以下は不合格)				
実務経験のある教員による技		る授業科目の場合、 右欄に○を入れ、実務経	5授業科目の場合、 右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する ○			
実務経験		自動車ディーラなどで、2級整備士と	自動車ディーラなどで、2級整備士として勤務			
実務経験の活か	いし方	メーカーごとの違い等を説明し、教	科書以	人外の補足として活月 	月する	
履修上の注意	事項	教科書の内容以外のことも多いので	、きち	っんとノートにまとぬ	かる	

授業科目		電子及び電気理論と自動車整備電気	装置	単位/時間	50 h	
開講学科等		自動車整備工学科 2年		担当教員	松岡邦朗	
授業の目的・テー	マ	半導体および、自動車で使用されている 電気配線図の読み方を学ぶ。 各装置の故障探究法を学ぶ。				
授業の到達目標	H <sub>1</sub>	が正確にできる。・各装置の故障探究において、	接置の名称・作動・構造の説明ができる。・電気配線図を見て、実際の部品での端子位置や各測定 確にできる。・各装置の故障探究において、故障個所を正確に特定し、修理手順と方法の説明がで ・2級自動車整備士試験の問題で、正解を導き出せる。			
	1	1年次の復習	26			
	3	半導体概要	27 28	安全装置		
		論理回路について	29			
	5	整流回路について	30	GPSシステム		
	6	定電圧回路について	31	GP32777		
	7	トランジスタ回路について		後期中間試験		
	8			後期中間試験の解答	答と解説 ニュー	
	$\vdash$	バッテリー	34	122 - 1414 ) 16-51		
	10		_	ABSの構造と作動		
授	11	始動装置の構造と整備	36 37			
業 の	13	前期表直の構造と登開				
計	14		38		, — <i>/•</i>	
画	15		40			
	16	充電装置の構造と整備	41	排気ブレーキ、エディ	ィーカレントリターダ	
	17			2		
		前期末試験		期末試験		
	_	前期末試験の解答と解説		後期末試験の解答と	と解説 ニューニー	
	20	計器	45			
	21 22		46			
	23		47	2級試験に出題され	る問題の解き方	
	24	空調装置	49			
	25		50			
授業の方法		講義	1 - 3	I		
テキスト/参考	文献	電装品構造 2級ガソリンエンジン	電装品構造 2級ガソリンエンジン 2級シャシ 自動車工学			
評価の方法や	<b></b> 基準		各期末テストで60点以上の成績を収めること。(A:85~100 B:84~70 C:69~60 D:59以下) 点数が未達の場合は、追試験において60点以上の成績を収めること。(59以下は不合格)			
実務経験のある教員	によ	る授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務総		<u> </u>		
2 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 -		22.1. Ema. C C 7.1.0. 7.09/lb			<u> </u>	
実務経験		自動車ディーラなどで、2級整備士	として	勤務		
実務経験の活か	<b>・</b> し力	が 整備士として実作業で得た知識を、	教科書	<b>喜以外の補足として</b> ?	舌用する	
履修上の注意事	事項	教科書の内容以外のことも多いので	、きち	oんとノートにまと≀ -	める	
-						

授業科目		自動車の力学		単位/時間	30 h		
開講学科等		自動車整備工学科 2年		担当教員	松岡邦朗		
授業の目的・テーマ プ		プラネタリギア比の計算方法を学ぶ。	動車の性能性能曲線図を学習し、計算を行う。 ラネタリギア比の計算方法を学ぶ。 動力や重心位置、電気抵抗等の、自動車の性能に関する計算方法を学ぶ。				
授業の到達目標に		・性能曲線図から、要求された数値を読むことができ こついて、要求された数値を計算して求めることが き出せる。	きる。 できる	・駆動力や重心位置等の 5。・2級自動車整備士試	の自動車に関する性能 験の問題で、正解を導		
	1	1 年次の復習	26	検定試験問題の解る	き方		
	2 5	走行性能曲線図の読み方	27	期末試験			
	3 3	エンジン性能曲線図の読み方	28	後期末試験の解答る	と解説 おおり おおり こうしゅう こうしょ かいしょう かいしょ かいしょ かいしょ かいしょ かいしゅう しゅうしゅう しゅう		
	4 1	電装品性能曲線図の読み方	29	10 A 22 A 24 A 24 A 24 A 24 A 24 A 24 A 2	r _L_		
	5	プラネタリギヤ比の計算	30	検定試験問題の解る	き力		
		車速と駆動力の計算	31				
		走行抵抗と駆動力の計算	32				
		重心位置を求める計算	33				
		期末試験対策	34				
		前期末試験	35				
極		前期末試験の解答と解説	36				
授 業	12	3379371411 4000-2731 11 12 13 1 10 11	37				
の	13		38				
計	14 電気	電気抵抗と電力	39				
画	15		40				
		バッテリーの内部抵抗の計算	41				
		タイヤの偏平率と発熱量	42				
	18	ノイ (ジニー・アンル ) 中で元 派重	43				
	19	クランクセンサーとエンジン回転速度	44				
	20 1	有羽	45				
		<sup>タロ</sup> 後期中間試験	46				
		<sup>及朔T间吶</sup> レッカー移動時の荷重の計算	47				
		レッカー移動時の何重の計算 前後軸荷重の計算	48				
	-	到後知何里の可募 後期昼間試験の解答と解説					
		<sup>友朔昼间武殃の</sup> 牌谷と牌就 倹定試験問題の解き方	49				
	20 1	東た武衆同趣の雅さ <i>刀</i>	50				
授業の方法	<del>.</del>	講義					
テキスト/参考	文献	基礎工学 2級シャシ					
評価の方法や	<b>基準</b>	各期末テストで60点以上の成績を収めること。 点数が未達の場合は、追試験において60点以上	各期末テストで60点以上の成績を収めること。(A:85~100 B:84~70 C:69~60 D:59以下) 点数が未達の場合は、追試験において60点以上の成績を収めること。(59以下は不合格)				
実務経験のある教員	による	- ' る授業科目の場合、 右欄に○を入れ、実務経駅	魚とま	<b>ミ務経験の活かし方を</b> 記	己載する ○		
実務経験		自動車ディーラなどで、2級整備士と	自動車ディーラなどで、2級整備士として勤務				
実務経験の活か	し方	実際の各装置の構造も併せて説明する	実際の各装置の構造も併せて説明することにより、理解を深める				
履修上の注意	事項	計算が多いので、電卓をかならず持参	する				
履修上の注意	事項	計算が多いので、電卓をかならず持参	する	)			

投業科目   故障探究   単位/時間   32 h   関議学科等   自動車整備工学科   2年   担当教員   協計							
投業の目的・テーマ   名テスタによる故障診断の手順や、探求法を学び、各不具合現象について総合的に   教業の到途目標	授業科目		故障探究		単位/時間	32 h	
	開講学科等		自動車整備工学科 2年		担当教員		
2   2   2   2   2   2   2   2   2   2	授業の目的・テー	-マ					
2 中朝言理と影断技術 27 故障の推定原因 4							
4   1   1   1   1   1   1   1   1   1			車輌管理と診断技術			/の各故障別	
技障原因探究の進め方   31   32   総合・復習   32   33   総合・復習   33   34   34   34   34   34   35   34   35   35			ガソリン・エンジンの故障原因と探究	_	電装品・シャシの故障	章原因と探究	
7   8   9   10   前期末試験   35   34   34   34   34   35   34   35   34   36   37   36   37   36   37   37   38   37   38   37   38   38			故障原因探究の進め方				
9   10 前期末試験   35   11   系統別故障の基本的な考え方   36   37   38   12   電子制御式燃料噴射・点火装置車の故障   39   15   探究の進め方   40   40   40   40   40   40   40   4		$\vdash$	最 7 知 知 于 辟 如 唐 卧 , 与 心 壮 军 亦 払 啐 杌 宛		花口 * 18 自		
12   13   電子制御式燃料噴射装置に特有な点検   37   38   38   38   39   39   40   40   40   40   41   17   故障の推定原因   41   42   43   43   49   45   45   45   45   46   47   49   49   49   49   49   49   49				_			
12   13   電子制御式燃料噴射装置に特有な点検   37   38   38   38   39   39   40   40   40   40   41   17   故障の推定原因   41   42   43   43   49   45   45   45   45   46   47   49   49   49   49   49   49   49	極	11	系統別故障の基本的な考え方	36			
画	業	12 雷		37			
17   18   19   20   20   基本的な考え方   44   45   45   46   45   46   47   22   ジーゼル・エンジンの故障探究   48   49   25   後期中間試験   50   授業の方法   講義   50   50   接業の方法   50   表別まテストで60点以上の成績を収めること。(A:85~100 B:84~70 C:69~60 D:59以下)点数が未達の場合は、追試験において60点以上の成績を収めること。(59以下は不合格)   実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験の活かし方を記載する   ○   実務経験の活かし方   実際の現場であった事例を交え、効率的な探究法を指導していく							
17   18   19   20   20   基本的な考え方   44   45   45   46   45   46   47   22   ジーゼル・エンジンの故障探究   48   49   25   後期中間試験   50   授業の方法   講義   50   50   接業の方法   50   表別まテストで60点以上の成績を収めること。(A:85~100 B:84~70 C:69~60 D:59以下)点数が未達の場合は、追試験において60点以上の成績を収めること。(59以下は不合格)   実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験の活かし方を記載する   ○   実務経験の活かし方   実際の現場であった事例を交え、効率的な探究法を指導していく		16 17 故	ガソリン・エンジンの各故障現象別	41			
18   19   18   19   20   20   20   20   21   22   25   25   25   24   25   24   25   25				-			
19			故障の推定原因				
20   基本的な考え方   45   46   47   48   49   23   24   25   後期中間試験   50   授業の方法   講義   自動車の故障と探究 二級ガソリン、二級ジーゼル エンジン、シャシ構造   戸キスト/参考文献   自動車の故障と探究 二級ガソリン、二級ジーゼル エンジン、シャシ構造   戸井スト/参考文献   自動車の故障と探究 二級ガソリン、二級ジーゼル エンジン、シャシ構造   存期末テストで60点以上の成績を収めること。(A:85~100 B:84~70 C:69~60 D:59以下) 点数が未達の場合は、追試験において60点以上の成績を収めること。(59以下は不合格)   実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する   ○ 実務経験   自動車ディーラなどで、2級整備士として勤務   実務経験の活かし方   実際の現場であった事例を交え、効率的な探究法を指導していく							
21   基本的な考え方   46   22   ジーゼル・エンジンに特有の点検   47   23   ジーゼルエンジンの故障探究の進め方   48   49   25   後期中間試験   50   接業の方法   講義   テキスト/参考文献   自動車の故障と探究 二級ガソリン、二級ジーゼル エンジン、シャシ構造   評価の方法や基準   各期末テストで60点以上の成績を収めること。(A:85~100 B:84~70 C:69~60 D:59以下)点数が未達の場合は、追試験において60点以上の成績を収めること。(59以下は不合格)   実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する   ●動車ディーラなどで、2級整備士として勤務   実務経験の活かし方   実際の現場であった事例を交え、効率的な探究法を指導していく		20 <u>基</u> 21					
22 ジーゼル・エンジンに特有の点検   47   23   ジーゼルエンジンの故障探究の進め方   48   49   25   後期中間試験   50   授業の方法   講義   戸キスト/参考文献   自動車の故障と探究 二級ガソリン、二級ジーゼル エンジン、シャシ構造   評価の方法や基準   合期末テストで60点以上の成績を収めること。(A:85~100 B:84~70 C:69~60 D:59以下)点数が未達の場合は、追試験において60点以上の成績を収めること。(59以下は不合格)   実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する   ○ 実務経験   自動車ディーラなどで、2級整備士として勤務   実務経験の活かし方   実際の現場であった事例を交え、効率的な探究法を指導していく			基本的な考え方				
23			ジーゼル・エンジンに特有の点検				
24   25   後期中間試験   50   接業の方法   講義   方もスト/参考文献   自動車の故障と探究 二級ガソリン、二級ジーゼル エンジン、シャシ構造   評価の方法や基準   各期末テストで60点以上の成績を収めること。(A:85~100 B:84~70 C:69~60 D:59以下) 点数が未達の場合は、追試験において60点以上の成績を収めること。(59以下は不合格)   実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する   ○ 実務経験   自動車ディーラなどで、2級整備士として勤務   実務経験の活かし方   実際の現場であった事例を交え、効率的な探究法を指導していく		_		_			
25   後期中間試験   50   接業の方法   講義   声ネスト/参考文献   自動車の故障と探究 二級ガソリン、二級ジーゼル エンジン、シャシ構造   評価の方法や基準   各期末テストで60点以上の成績を収めること。(A:85~100 B:84~70 C:69~60 D:59以下)点数が未達の場合は、追試験において60点以上の成績を収めること。(59以下は不合格)   実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する   重新車ディーラなどで、2級整備士として勤務   実務経験の活かし方   実際の現場であった事例を交え、効率的な探究法を指導していく		_	ジーゼルエンジンの故障探究の進め方				
テキスト/参考文献 自動車の故障と探究 二級ガソリン、二級ジーゼル エンジン、シャシ構造 評価の方法や基準		25	後期中間試験	_			
評価の方法や基準 各期末テストで60点以上の成績を収めること。(A:85~100 B:84~70 C:69~60 D:59以下) 点数が未達の場合は、追試験において60点以上の成績を収めること。(59以下は不合格) 実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する ○ 実務経験 自動車ディーラなどで、2級整備士として勤務 実務経験の活かし方 実際の現場であった事例を交え、効率的な探究法を指導していく	授業の方法	÷	講義				
点数が未達の場合は、追試験において60点以上の成績を収めること。(59以下は不合格)   実務経験のある教員による授業科目の場合、 右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する   ○     実務経験   自動車ディーラなどで、2級整備士として勤務   実務経験の活かし方   実際の現場であった事例を交え、効率的な探究法を指導していく	テキスト/参考	文献	自動車の故障と探究 二級ガソリン	自動車の故障と探究 二級ガソリン、二級ジーゼル エンジン、シャシ構造			
実務経験 自動車ディーラなどで、2級整備士として勤務 実務経験の活かし方 実際の現場であった事例を交え、効率的な探究法を指導していく	評価の方法や表	基準					
実務経験の活かし方 実際の現場であった事例を交え、効率的な探究法を指導していく	実務経験のある教員による技		る授業科目の場合、 右欄に○を入れ、実務経	_    授業科目の場合、 右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する			
	実務経験		自動車ディーラなどで、2級整備士と	自動車ディーラなどで、2級整備士として勤務			
履修上の注意事項 教科書の内容以外のことも多いので、きちんとノートにまとめる	実務経験の活か	レナ	実際の現場であった事例を交え、効率	図的な	:探究法を指導してい	/\<	
	履修上の注意	事項	教科書の内容以外のことも多いので、	きち	っんとノートにまと	める	

拉米 打口		₩ *		兴 <i>仁</i> /吐即	00.1		
授業科目		横 査 		単位/時間	23 h		
開講学科等		自動車整備工学科 2年		担当教員	筒井 孝則		
授業の目的・テ		自動車検査に使用する機器について正 保安基準及び検査方法を学ぶ	しい操	作方法を学ぶ			
授業の到達目	標	自動車の保安基準を理解 各検査機器の使用手順及び使用方法を理 保安基準に基づいた適切な検査方法を知	<b>倹査機器の使用手順及び使用方法を理解</b>				
	1 2	一年次の法令復習	26 27				
		保安基準適合性確保の点検	28				
	4	 法令点検の目的	29				
	5		30				
		点検作業の流れについて	31				
		自動車分解整備事業者の点検、検査 各種装置の点検と保安基準の適合性	32				
		各性表 直の 点 快 と 休 女 左 毕 の 適 古 注 各エンジンや車両における排出ガス基準について	33				
		前期末試験	35				
₩		R安基準と検査機器の取扱いについて	36				
授業の計画	12		37				
	13	──  サイトスリッノナスタの使用目的と取扱い	38				
	14	4	39				
	15	: <u></u> ブレーキテスタの使用目的と取扱い  5					
	16	17       18       19       20       21         スピードメーターテスタの使用方法と測定	41				
	17		42				
			43				
	19		44				
			45				
			46				
		オパシメータによるPM測定 後期試験	47				
	24	(文 万引 P* Vig(大	49				
	25		50				
哲学の士は		3# 关					
授業の方法	云	講義					
テキスト/参考	考文献	二級シャシ 法令教科書 機器取	対扱い				
評価の方法や	基準	各期末テストで60点以上の成績を収めること。 点数が未達の場合は、追試験において60点以」	各期末テストで60点以上の成績を収めること。(A:85~100 B:84~70 C:69~60 D:59以下) 点数が未達の場合は、追試験において60点以上の成績を収めること。(59以下は不合格)				
実務経験のある教	員によ		験と実績	<b>務経験の活かし方を</b>	記載する		
実務経験		自動車ディーラなどで、2級整備士	自動車ディーラなどで、2級整備士として勤務				
実務経験の活かし方		実際の現場であった事例を交え、ダ	実際の現場であった事例を交え、効率的な手順を指導していく				
履修上の注意	事項		教科書の内容以外のことも多いので、きちんとノートにまとめる 数値計算があるので、電卓を持参する				

授業科目		社会研究	単位/時間	80 h		
開講学科等		自動車整備工学科 2年	担当教員	筒井 孝則		
		2001 200 - 111 - 1				
授業の目的・テー	-7	社会人に必要なビジネスマナー、知識、協議	調性、コミュニケ	ーション力の向上		
授業の到達目標		ビジネスマナーの知識だけでなく、実際	に行動できること	を目標とする。		
	1	レクリエーション 26				
	2	各科目の復習 27				
	3	自動車救援士 28				
	4	学園祭 29				
	5	査定士講習 30				
	6	査定士試験 31				
	7	校外研修 32				
	8	国試対策 33				
	9	34				
	10	35				
授	11	36				
業	12	37				
の 計	13	38				
画	14	39				
<u> </u>	15	40				
	16	41				
	17 18	42				
	19	43				
	20	45				
	21	46				
	22	47				
	23	48				
	24	49				
	25	50				
哲帯でする						
授業の方法	3	座学	•			
テキスト/参考	文献	国家試験問題集、各	種講習テキスト			
評価の方法や	基準	授業態度・出欠席・テン	授業態度・出欠席・テスト(筆記・実技)			
実務経験のある教員	ほによ	る授業科目の場合、 右欄に○を入れ、実務経験と実	務経験の活かし方を	記載する		
実務経験		自動車ディーラなどで、	2級整備士として勤	助務		
実務経験の活かし方		体験した事例を座学・	体験した事例を座学・実技に織り込む。			
履修上の注意	事項	外部講習時は、時間厳守及び	身だしなみに注意する	<del></del>		

授業科目		実習エンジン	単位/時間	400 h			
開講学科等		自動車整備工学科 2年	担当教員	筒井 孝則			
授業の目的・テー	マ業	について、正確で効率的な作業が出来るように	構について、作動の仕組みを理解する・エンジンや各装置等に関する不具合や、修理作 ついて、正確で効率的な作業が出来るようにする・応用力を身につけ、不具合箇所の推 できるようにする・定期点検の各項目の点検方法を学ぶ				
授業の到達目標	! が	支術の向上と、効率の良い作業ができる・故障について総合的な診断をし、的確な作業 きる・不具合により、故障箇所を推定することができる・定期点検の各項目について、 な判断、点検ができる					
	1 2 ガ	「ソーリーン・コーン・ノン・ノ(/) 百 稀 と イン 7種 /乍 辛 ――	26分配型インジェクション27電子制御式高圧燃	・ポンプの構造及び仕組み 然料装置の			
	3 4	ーゼル・エンジンの構造	28 構造及び仕組み 29 ガソリン・エンジ				
	5	滑 冷却装置の構造及び占給作業 -	30 基本点検と故障探	究			
	7 吸	・排気装置の構造及び	31 ジーゼル・エンジ 32 基本点検と故障探				
	9		33 34 実習のまとめ、実	技テスト			
授	10		35 36				
業の	<b>美</b> 12 17.		37 38				
計画	14 7 15 ,,	クナュエータの点検	39 40				
	16 17 外部 18 各項 19 20 21 22 23 列西	ーキット・アスタによる政障探求法	41				
			42 43				
		:十制御袋直())故障挨求 📗 📙	44 45				
		′ーヤル・エンソン(/) 恢料系統 ニニー	46 47				
		型インジェクション・ポンプの	48 49				
			50				
授業の方法		実習車・単体部品教材を使った実習					
テキスト/参考	文献	2級ガソリン、2級ジーゼル、自動車の間	汝障と探究				
評価の方法や基準		各分野において、出席時間数90%以上出来でし、内容も粗雑でないこと。・上記内容と哲	各分野において、出席時間数90%以上出来ていること。・実習レポートを期限内に提出 し、内容も粗雑でないこと。・上記内容と授業態度を考慮して評価を行う。				
実務経験のある教員	による	授業科目の場合、 右欄に〇を入れ、実務経験	と実務経験の活かし方を	記載する			
実務経験		自動車ディーラなどで、2級整備士とし	て勤務				
実務経験の活か	し方	現場で得た知識と技術を実例として説明	明し、作業習得に対す	-る意欲を高める。			
履修上の注意事	 事項	実習時のノートは、以後の実習でも参えめる	 考とするので、必ず見	 して判るようにまと			

授業科目		実習シャシ		単位/時間	400 h	
開講学科等		自動車整備工学科 2年		担当教員	松岡邦朗	
授業の目的・テー	ーマ	自動車の各装置について、車両からの脱着・分解及で 自家用乗用車の車検整備及び小型貨物車の定期点検 整備内容をユーザーに説明するための手順・話法を登	<ul> <li>車核</li> </ul>	食整備の手順や点検項目		
授業の到達目標 録		各装置の脱着・分解及び整備が正確に行える。 録簿の記載ができる。・故障車の問診及び故障 かつわかりやすく説明することができる。				
	_	オートマティクトランスミッションの車上点		小型貨物自動車の車	<b>倹整備</b>	
		<b>倹</b> 	27	ABS装置とSRSエアバッ	ックシステム	
	3	オートマティクトランスミッションの脱着	28			
	5	 オートマティクトランスミッションの	29 30	自家用乗用車の12%	ヶ月点検	
		オーバーホール	31	IA -ta Nicatha		
	7	電装部品の車上点検	32	検査業務		
	8	电表が叩り半上点使	33	実技試験		
	9	アーシングの効果と方法	34			
		電装系統の故障探究	35			
授	11 デフ	デファレンシャルギャ及びLSDの分解組み付け 4WDトランスファーの分解組み付け	36 37			
業 の	13		38			
計	10   油圧パワーステアリングの脱着、車上点検		39			
画	15					
	16 リスペンションとアフィメント側に		41			
	17	42				
			43			
		44 45				
		46				
		自家用乗用車の車検整備	47			
		上刑化器力科士ので、日上や	48			
	24	小型貨物自動車の6ヶ月点検	49			
	25	小型貨物自動車の車検整備	50			
授業の方法	=	実習車・単体部品教材を使った実習				
テキスト/参考	文献	2級自動車シャシ、自動車の故障と探到	兒			
評価の方法や基準		各分野において、出席時間数90%以上出来 し、内容も粗雑でないこと。・上記内容と	各分野において、出席時間数90%以上出来ていること。・実習レポートを期限内に提出し、内容も粗雑でないこと。・上記内容と授業態度を考慮して評価を行う。			
実務経験のある教員	によ	る授業科目の場合、 右欄に○を入れ、実務経駒	とま	<b>ミ務経験の活かし方を</b>	記載する	
実務経験		自動車ディーラなどで、2級整備士とし	自動車ディーラなどで、2級整備士として勤務			
実務経験の活か	いし方	実際の作業における効率のよい作業、 解説する。	車輌	<b>与ごとの違いによる</b> (	作業のポイントを	
履修上の注意	事項	実習時のノートは、以後の実習でも参 める	:考と	: するので、必ず見`	て判るようにまと	
履修上の注意事項 実習時のノートは、以後の実習でも参考とするので、必ず見て判るように める					て判るようにまと	